

令和3年度滑川町の教育について

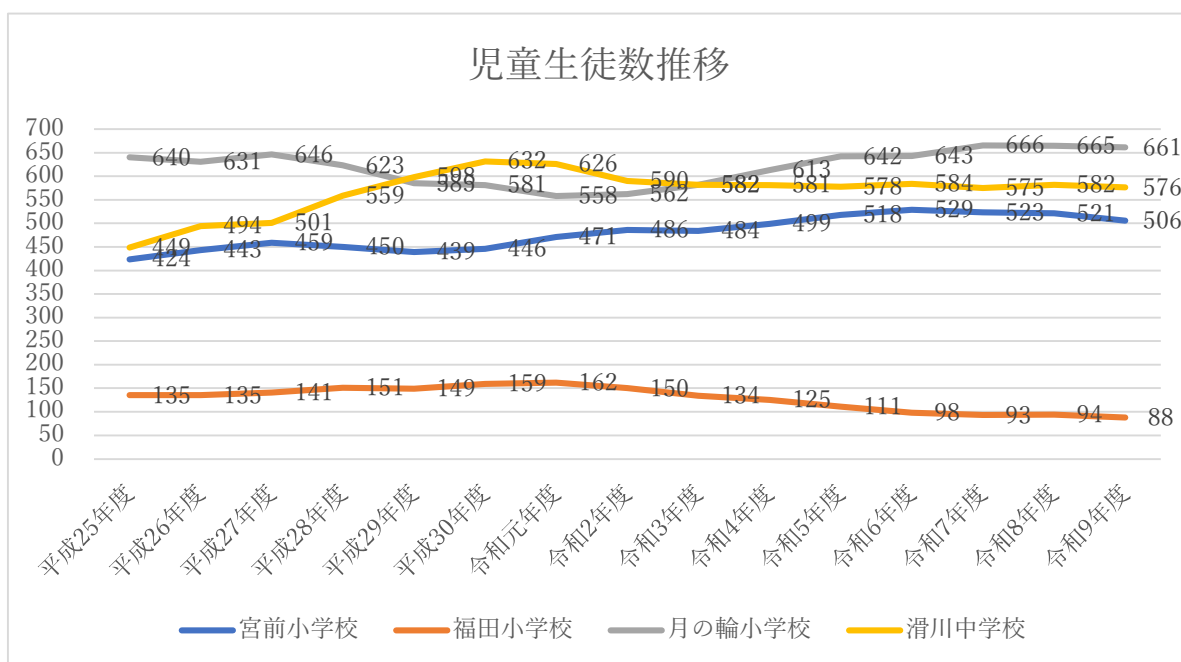
令和3年4月21日

滑川町教育委員会では、児童生徒数の推移と今後の教育のあり方を踏まえ、町立小・中学校および幼稚園の将来を展望した学校園のあり方について、広い見地から検討しております。

1 小中学校を取り巻く現状

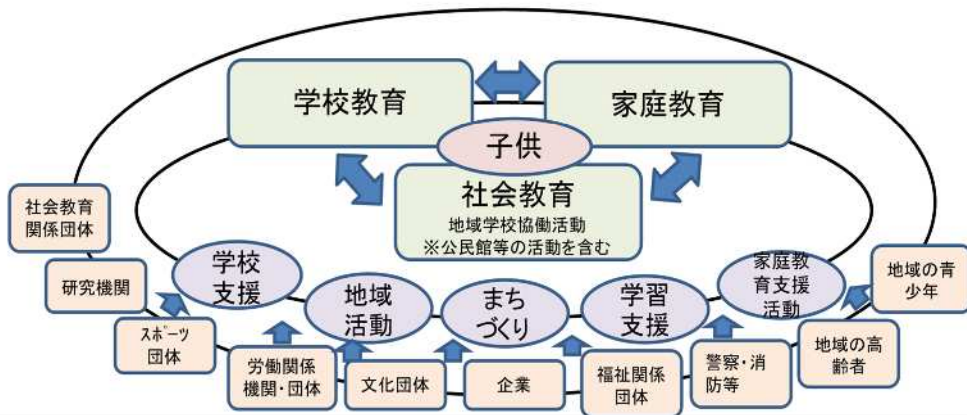
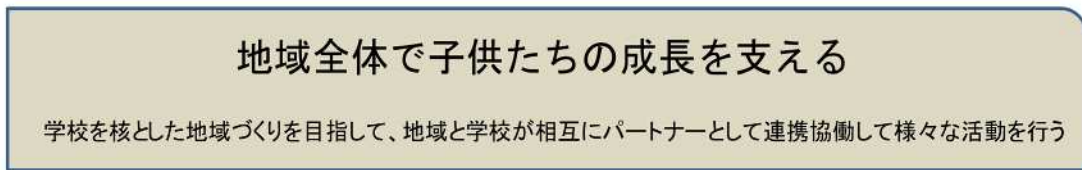
近年の全国的な傾向は、児童生徒数が減少し、今後もその傾向が続くことが予想されます。

令和3年度以降では、宮前小、月の輪小が増加傾向にあり、滑川中は横ばい、福田小は減少傾向にあります。このような状況の中、学校規模の違いや地域の特徴による様々な課題が生じることが懸念されております。



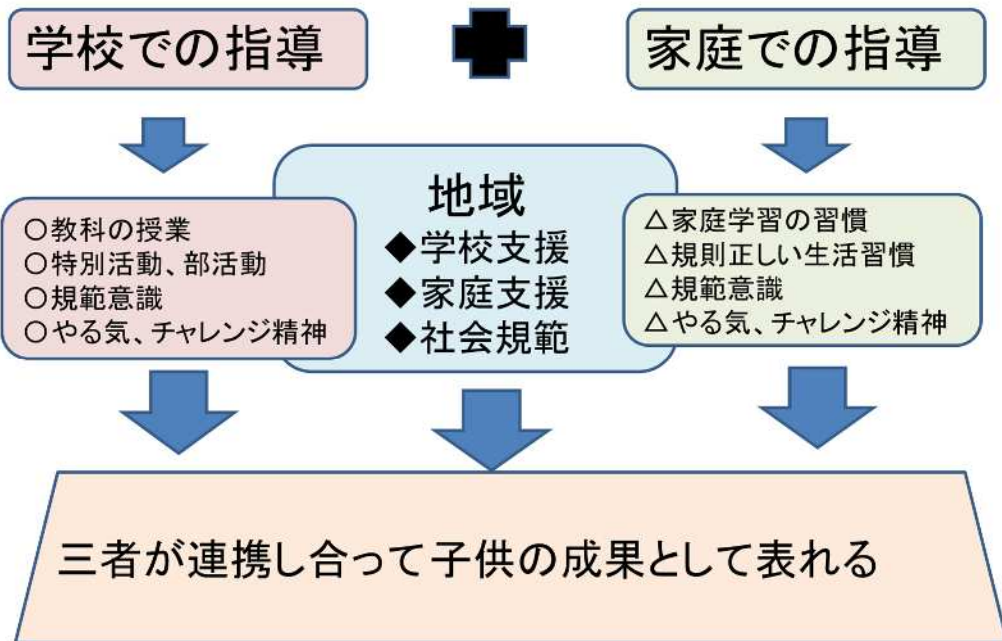
Society5.0において、経験する変化は劇的なものであることが予想される。その中で、人間らしく豊かに生きていくために必要な力は、①文章や情報を正確に読み解き、対話する力、②科学的に思考・吟味し活用する力、③価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究心とされている。また、学校などの教育の場も一斉一律の授業スタイルの限界から抜け出し、読解力等の基盤的学力を確実に習得させつつ、個人の進度や能力、関心に応じた学びの場となることが必要である。また、異年齢や異学年での協働学習も広げていくことが重要である。

2 地域全体で子供たちの成長を支える取組

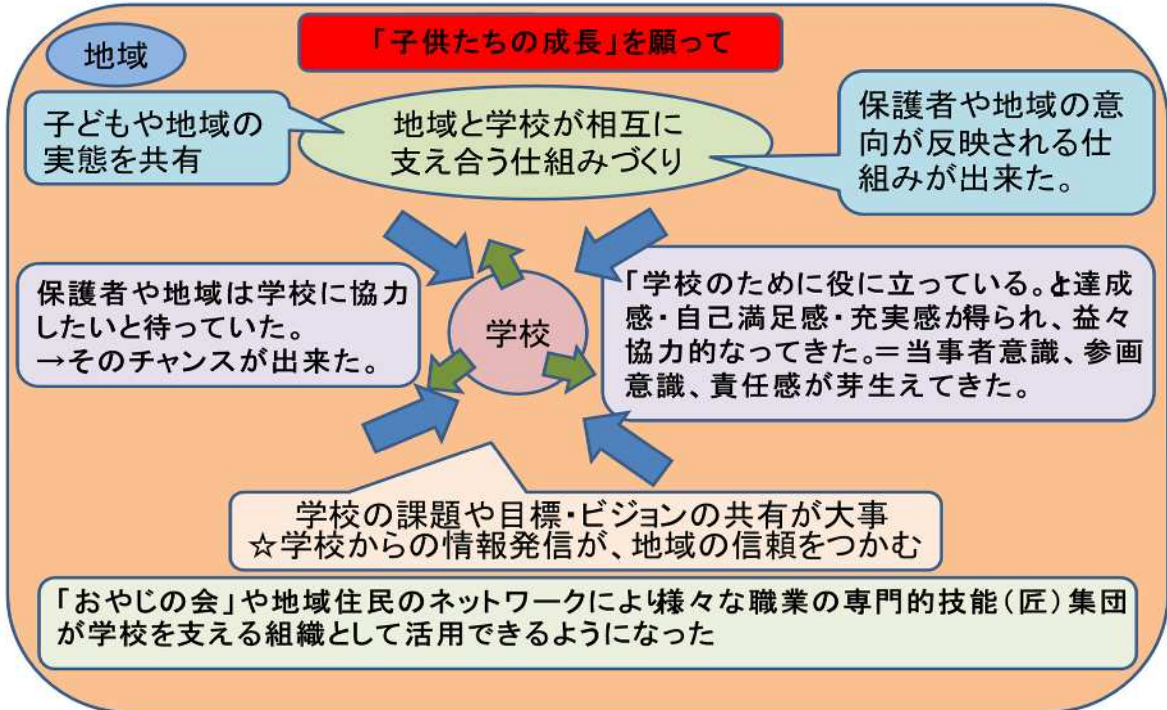


- ◎次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎従来の団体だけではない、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実により、地域課題解決等に向けた連携・協働を行う。(つながりとかかわりの重視)

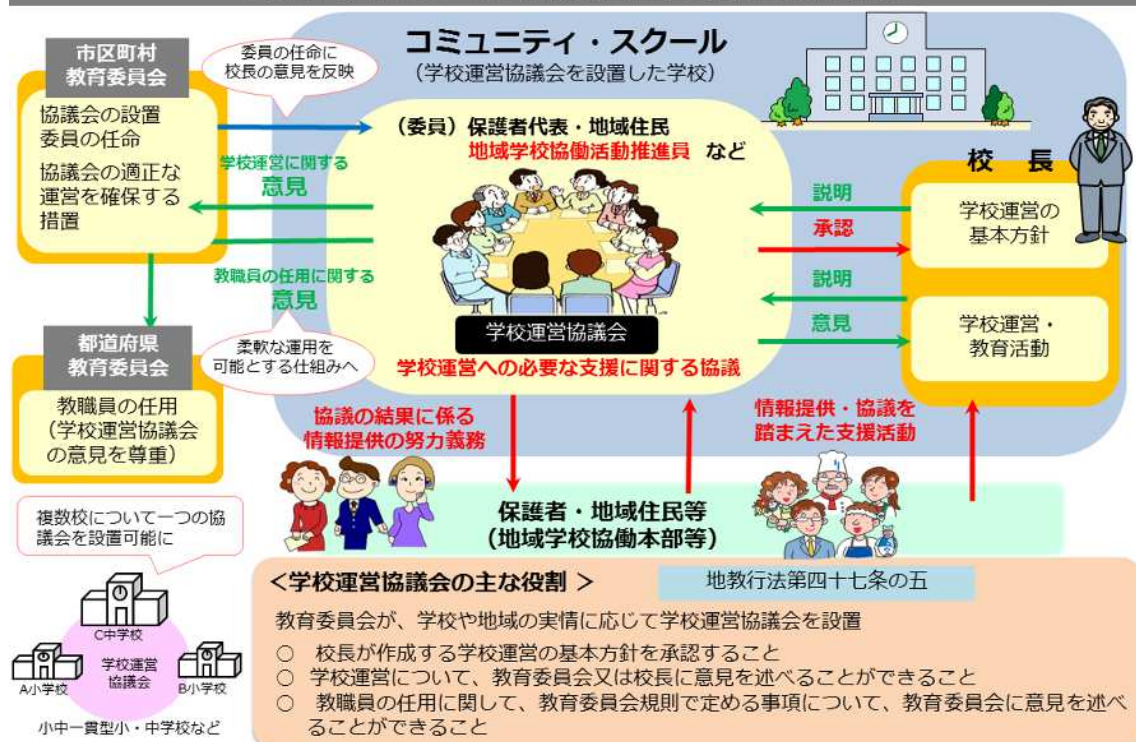
子供たちの資質・能力の育成は学校だけで十分か



地域人材の力を生かす → 地域を元気にする



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



3 生活習慣向上の取組

「大切にしましょう。家族で、元気・学び・会話」

3つの合い言葉

- 「元気の素をつくりましょう。」
 - ・早寝・早起き・朝ごはんを大切に作る。
 - ・ゲーム・テレビ・スマホ等の時間の制限をする。
- 「学びの時間をつくりましょう。」
 - ・家庭学習の時間をつくりましょう。(運動を含みます)
 - ・一緒に本や新聞を読みましょう。(家読、共読の推進)
- 「会話を大切にしましょう。」
 - ・あいさつをかわし、目を見て会話をしましょう。
 - ・「なぜ」「どうして」「なるほど」を大切にしたい会話をしましょう。

【参加団体 (案)】

教育委員会、学校園、民生委員会、PTA 連合会、
児童福祉施設連絡協議会、保育施設連絡会、放課後児童クラブ連絡会、
地域子育て支援拠点連絡会

【全国学テ・県学調質問紙調査より】

朝食 (小) 90.8%、(中) 86.8%→約1割が朝食欠食
早寝 (小) 11.9%、(中) 19.3%→同じ時刻に寝ていない
早起 (小) 5.4%、(中) 8.0%→同じ時刻に起きていない
会話 (小) 18.9%、(中) 20.8%→していない
(小) 16.4%、(中) 15.2%→していない
読書 (小) 15.1%、(中) 31.1%→不読率
(小) 7.0%、(中) 30.6%→不読率
ゲーム (小) 39.4%、(中) 40.0%→1日(月～金)2時間以上使用
スマホ・ネット
(小) 12.7%、(中) 28.1%→1日(月～金)2時間以上使用

4 滑川町内小中学校における生徒指導調査結果について

【不登校児童生徒数】

	H30	R1	R2
宮前小	0	3	4
福田小	0	0	1
月の輪小	3	4	2
滑川中	17	24	20

【いじめ発生認知件数】

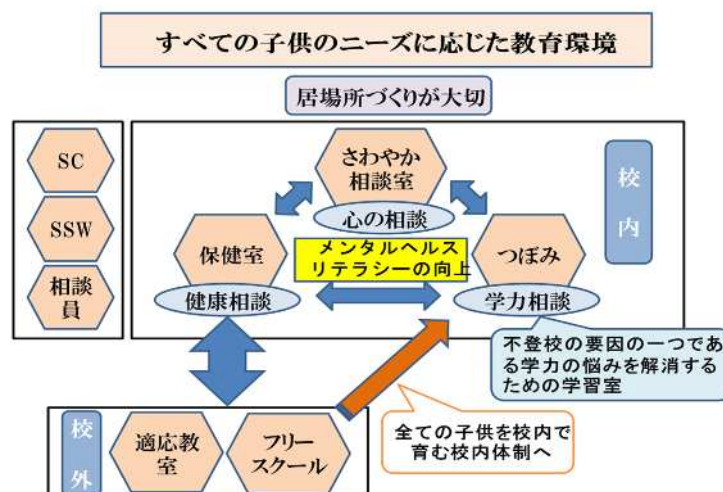
	H30	解消率	R1	解消率	R2	解消率
宮前小	4	100%	6	50%	2	100%
福田小	0	100%	1	100%	1	100%
月の輪小	2	100%	3	100%	2	100%
滑川中	4	75%	13	85%	33	82%

※R2の中学校は解消27件、未解消6件。6件とも発生後3ヶ月を経過していない事案のため、解消には至っていない。(3ヶ月の経過観察をして解消と見なすため)

【暴力行為発生認知件数】

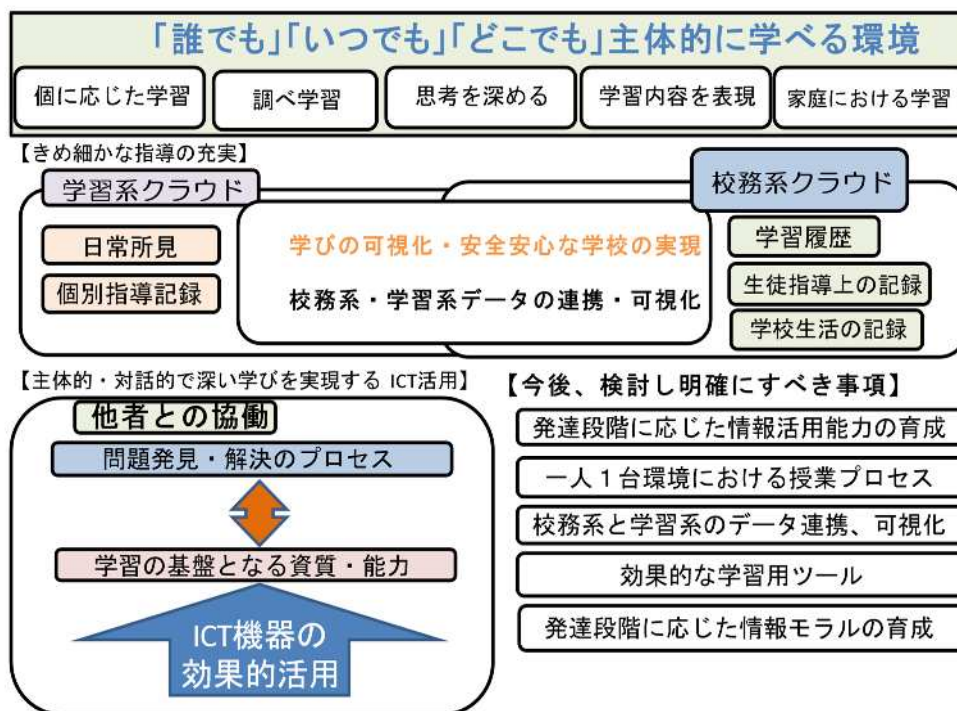
	H30	R1	R2
宮前小	11	14	2
福田小	5	1	0
月の輪小	2	7	9
滑川中	30	6	23

令和2年度、中学校においていじめと暴力行為件数が非常に増加してしまっている。どちらも6割以上が1年生の事案であり、1年生の不適応が伺える。



5 GIGAスクール構想について

【個別の学びに応じたICT活用】



現在、グローバル化や人工知能の飛躍的な進歩等により、加速度的に社会が変化していく中、これに適応し未来に生きる子供たちにとって、情報収集能力、情報活用能力は欠かすことができない。そこで、今般、文部科学省が推し進めるGIGAスクール構想の下、滑川町としても、今年度より1人1台のタブレットPCを、町内の小・中学校の全児童・生徒に貸与した。「学んでよかったまちへ 人・まちをつなげ、未来へつながる滑川町の教育」の基本理念の下、子供たち1人1人が資質・能力を最大限に伸ばし、新しい時代を切り拓いて生き抜く力を身に付けることが出来るよう、学校におけるICT環境を整備し、情報活用の実践力、情報の正しい理解、情報社会に参画する態度など、バランスよく育成していく。

現在各校ではタブレットPCの利用を進めようとしているところである。しかし、初期のログインが10台ずつしかできないことや、発達段階によっては自分自身でのログインが難しいこと等もあり、当初の計画より遅れている状況である。ログイン作業終了後、発達段階によるが以下の計画で進めていく。

- ①教師の教具的使用〔提示・配布・収集など〕
- ②教師の教具・子供の文具的使用〔共有・共働・振り返り〕
- ③子供の文具的活用〔子供も教師も意識なしにICT活用〕